

# 齋賀医院壁新聞

文献情報と医院案内 齋賀医院ホームページに戻る場合戻るボタンをおしてください

## 検索ボックス

[<< 小児における抗生剤の不適切使用 | TOP | 雷雨は喘息発作を誘発する >>](#)

2022年06月04日

[<< 2022年07月 >>](#)

日	月	火	水	木	金	土
					<a href="#">1</a>	<a href="#">2</a>
<a href="#">3</a>	<a href="#">4</a>	<a href="#">5</a>	<a href="#">6</a>	<a href="#">7</a>	<a href="#">8</a>	<a href="#">9</a>
<a href="#">10</a>	<a href="#">11</a>	<a href="#">12</a>	<a href="#">13</a>	<a href="#">14</a>	<a href="#">15</a>	<a href="#">16</a>
<a href="#">17</a>	<a href="#">18</a>	<a href="#">19</a>	<a href="#">20</a>	<a href="#">21</a>	<a href="#">22</a>	<a href="#">23</a>
<a href="#">24</a>	<a href="#">25</a>	<a href="#">26</a>	<a href="#">27</a>	<a href="#">28</a>	<a href="#">29</a>	<a href="#">30</a>
<a href="#">31</a>						

## 最近の記事

- [\(07/27\)新型コロナワクチン・ノババックスの勧め](#)
- [\(07/25\)3剤配合吸入薬\(ステロイド+LABA+LAMA\)の有用性](#)
- [\(07/22\)心不全治療薬のエンレストは万能薬か?](#)
- [\(07/20\)オミクロン株の変異の猛威](#)
- [\(07/19\)インフルエンザと新型コロナの同時流行の懸念](#)

## 最近のコメント

- [オミクロン株の変異の猛威](#) by (07/21)
- [オミクロン株でクルーズ症候群は起きるのです。その2](#) by (06/06)
- [糖尿病治療薬GLP-1作動薬と胆嚢疾患](#) by (04/26)
- [4回目の接種・イスラエルからの2つの報告](#) by (04/26)
- [モデルナワクチンのブースター効果・その2](#) by (02/04)

## タグクラウド

## カテゴリ

- [小児科](#)(223)
- [循環器](#)(247)
- [消化器・PPI](#)(147)
- [感染症・衛生](#)(276)
- [糖尿病](#)(128)
- [喘息・呼吸器・アレルギー](#)(100)
- [インフルエンザ](#)(106)
- [肝臓・肝炎](#)(62)

## サル痘について

### サル痘について



既に、サル痘について知識があると思いますが、本院の立場として纏めてみました。いろいろな文献より纏めました。下記にPDFを掲載します。

- サル痘を診断するには、プライマリーケア（実地医家）、救急外来、皮膚科、性感染症科が相互的に協力する必要があります。
- サル痘は、天然痘（痘瘡）と同じオルソポックスウイルスである。そのため、種痘ワクチンが有効である。既に、アメリカでは「サル痘」の感染例に対応し、2019年に承認された「Jynneos」ワクチンを、国家備蓄から放出すると発表しています。痘瘡の旧式ワクチン「ACAM2000」は、1億回分以上の備蓄がありますが、一部で重大な副作用を引き起こすことが分かっているそうです。日本でも備蓄されているとの事です。後藤 茂之厚生労働相は、27日の閣議後の記者会見で、わが国では以前からテロ対策を目的に、天然痘ワクチンの生産・備蓄が行われており、政府がワクチンの活用方法について、検討を進めていると述べています。
- CDCによりますと、21か国で少なくとも226例の報告があります。これらの症例が、アフリカなどのendemicと異なる点は、現地に渡航していない点と、人から人への感染です。又多発していますが、クラスターは起きていません。
- 空気感染も理論的には推測されますが、主体は感染者との接触感染と体液による感染です。最近では、男性のホモセックスも疑われています。潜伏期間は、5～21日です。死亡率は、1～10%です。
- 症状は発熱、発疹、リンパ節腫大です。発疹は、最初に口の周りからはじまり、顔面、躯幹へと広がります。診断は、皮膚病変からのPCR検査です。
- 治療は、抗ウイルス薬が候補に挙がっていますが、殆どが軽症のため、治療のメリットがあるかは現段階では不明です。しかも、副作用報告もあります。今後の開発が期待されます。感染が確認されたら、迅速なワクチン接種が重症化予防に有効です。一般的には、暴露後4日以内で感染予防効果があり、暴露後4～14日では、重症化予防効果があるとされています。ワクチン接種が不可能の場合は、免疫グロブリンも有力視されています。

[薬・抗生剤・サプリメント・栄養指導\(51\)](#)  
[脳・神経・精神・睡眠障害\(47\)](#)  
[整形外科・痛風・高尿酸血症\(32\)](#)  
[ワクチン\(74\)](#)  
[癌関係\(11\)](#)  
[脂質異常\(28\)](#)  
[甲状腺・副甲状腺\(19\)](#)  
[婦人科\(10\)](#)  
[泌尿器・腎臓・前立腺\(41\)](#)  
[熱中症\(7\)](#)  
[日記\(23\)](#)  
[その他\(80\)](#)

## 過去ログ

[2022年07月\(12\)](#)  
[2022年06月\(15\)](#)  
[2022年05月\(15\)](#)  
[2022年04月\(14\)](#)  
[2022年03月\(15\)](#)  
[2022年02月\(14\)](#)  
[2022年01月\(16\)](#)  
[2021年12月\(14\)](#)  
[2021年11月\(17\)](#)  
[2021年10月\(17\)](#)  
[2021年09月\(13\)](#)  
[2021年08月\(16\)](#)  
[2021年07月\(12\)](#)  
[2021年06月\(16\)](#)  
[2021年05月\(16\)](#)  
[2021年04月\(14\)](#)  
[2021年03月\(18\)](#)  
[2021年02月\(19\)](#)  
[2021年01月\(16\)](#)  
[2020年12月\(17\)](#)  
[2020年11月\(15\)](#)  
[2020年10月\(17\)](#)  
[2020年09月\(19\)](#)  
[2020年08月\(14\)](#)  
[2020年07月\(17\)](#)  
[2020年06月\(14\)](#)  
[2020年05月\(21\)](#)  
[2020年04月\(18\)](#)  
[2020年03月\(18\)](#)  
[2020年02月\(18\)](#)  
[2020年01月\(19\)](#)  
[2019年12月\(14\)](#)  
[2019年11月\(15\)](#)  
[2019年10月\(18\)](#)  
[2019年09月\(18\)](#)  
[2019年08月\(14\)](#)  
[2019年07月\(14\)](#)  
[2019年06月\(16\)](#)  
[2019年05月\(14\)](#)  
[2019年04月\(18\)](#)  
[2019年03月\(19\)](#)  
[2019年02月\(19\)](#)  
[2019年01月\(15\)](#)  
[2018年12月\(16\)](#)  
[2018年11月\(20\)](#)  
[2018年10月\(20\)](#)  
[2018年09月\(18\)](#)  
[2018年08月\(24\)](#)  
[2018年07月\(18\)](#)  
[2018年06月\(18\)](#)

以降はカテゴリーで検索してください。

## 7) 診断には、非定型症例があるので注意

カナダのモントリオールからの症例報告です。  
若い男性が、性器の単一皮膚病変で病院を受診しています。  
この男性は、1週間前にサル痘陽性の男性と性交渉をしていました。  
本患者は、その後1週間で皮疹は全身に増加していますが、  
痛みはなく発熱もありませんでした。

現段階で、性器のウイルスによる暴露が多く報告されています。  
サル痘の典型的症状は、発熱、顔から始まる発疹、リンパ節腫大  
ですが、この報告の様に、非定型があることは、ウイルス感染の  
領域では驚くことではありません。  
病変部位の濃厚接触と、長時間の暴露が感染伝播の決め手となります。  
アメリカやヨーロッパでの感染経路は、性交渉が多く関与しています。  
アフリカで報告されているサル痘と、現在、都市部で流行の兆しのあるサル痘では、症状が異なりますが、ウイルスの変異とは  
考えられません。  
注意深い症例の蓄積が必要です。

## 私見)

発熱がなくても、陰部皮疹、膿痂疹、ヘルペスなどの皮膚症状があれば、  
鑑別にサル痘を考えなくてはならないかもしれません。  
高温多湿のこの時期に頭をひねります。

[CDC ワクチン 種痘.pdf](#)

[How to prevent, diagnose and treat.pdf](#)

[Why the Atypical Symptoms in the Latest Monkeypox.pdf](#)

[ケアネット サル痘.pdf](#)

0 | 0  
いいね!

ツイート

ブックマーク

## 【感染症・衛生の最新記事】

[オミクロン株の変異の猛威](#)  
[インフルエンザと新型コロナの同時流行の懸..](#)  
[家庭でのコロナ抗原検査](#)  
[集団免疫を獲得してもオミクロン流行には注..](#)  
[LongCOVIDは代替治療で!](#)

posted by 齋賀一 at 16:33 | [感染症・衛生](#)

